

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 「健康で、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」を目指して、感性を磨き、社会的知性と実践力を身に付ける。

目指す児童像 ○進んで勉強する子ども（かしこく）

○思いやりのある子ども ○喜んで働く子ども（なかよく）

○健康で明るい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

今年度のテーマ『 みんなが 楽しく 』 「地域が学校～地域に学び、地域とともに伸びる城山中央小学校」

<児童にとって> ○学ぶ楽しさ ○仲間がいる楽しさ ○学校の楽しさ のある学校

<保護者・地域にとって> ○通わせる楽しさ ○協力する楽しさ のある学校

<教師にとって> ○教え・導く楽しさ のある学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その発展に努める。
- 学校経営の中核に児童の確かな学力の定着を位置づけ、基礎基本の確実な定着と課題解決に必要な資質能力を育てる。
- 規範意識や倫理観などの社会性を身に付け、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成に努める。
- 家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに、家庭・地域の教育力を生かした教育活動を充実し、地域に根ざして開かれた地域の学校づくりに努める。
- 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切に、専門職にふさわしい資質の向上を目指す。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【 学 校 運 営 】

学び合う楽しさ、豊かな心の育成を目指して、和と協働の学校運営を推進する

～みんなが楽しい、城山中央小学校～

【 学 習 指 導 】

適切に課題を設定し、自力で解決したり、友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

【 児 童 生 徒 指 導 】

思いやりの心を持ち、物事を正しく判断し、主体的な行動ができる児童の育成

～児童と児童、児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

【健康（保険安全・食育）・体力】

自分の体に関心をもち、進んで健康の保持増進と体力の向上に励む児童の育成

～教科体育や体育的行事の充実と、児童が体を動かしたくなる活動の推進～

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価								
学校運営の状況	A 1 学校は、活があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 適正な学校運営に努める。 ・ 創意と調和のある「子どもを生かす」教育の実践 ・ 学校評価を生かした保護者、地域と一体化した学校づくりの推進 ② 児童・保護者・教師・地域の想いを把握し、学校運営に生かす。 ・ 学校運営推進委員会の設置	B	A 1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.1%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.9%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・ 児童の肯定的回答の割合が、昨年度を上回ったのは、学校の取組が児童に伝わっている	児童	93.1%↑	保護者	93.9%↓	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%→
	児童	93.1%↑										
保護者	93.9%↓											
地域住民	100.0%↑											
教職員	100.0%→											

A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 全体アンケートの「教職員は、協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 教職員の資質と能力の向上に努める。 ・教育に対する理念、使命感、豊かな人間性、教育実践力、動向を察知した対応力等の向上 ・「報告・連絡・相談」の徹底 ・学年交換授業や教科担任制の推進 ・教師一人一人の授業力の向上	B	からであると考えられる。保護者に対しては、学校だよりや学年だよりで児童の活躍を伝えていきたい。 A 2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>97.5%→</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.9%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・数値目標は上回ってはいるが、保護者の肯定的回答のみが、2年続きで下がっている。教師の指導力の向上に努めるとともに、学校の取組を積極的に発信していく。	児童	97.5%→	保護者	92.9%↓	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%→
児童	97.5%→										
保護者	92.9%↓										
地域住民	100.0%↑										
教職員	100.0%→										
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① <u>基本的生活習慣と規範意識の育成に努める。</u> ・生命や人権尊重を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施 ・「城央小のよい子」を活用した、統一的・継続的な指導 ② <u>家庭・地域、関係諸機関との連携</u>	B	A 3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>85.9%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.3%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.9%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>86.4%↓</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・児童の学校生活のきまりやマナーに対しての肯定的回答が年々下がってきている。「城央小のよい子」や週目標の確認を徹底し、基本的生活習慣を身に付けられるよう指導していく。また、家庭と連携した指導を今後も継続していく。	児童	85.9%↓	保護者	93.3%↑	地域住民	88.9%↓	教職員	86.4%↓
児童	85.9%↓										
保護者	93.3%↑										
地域住民	88.9%↓										
教職員	86.4%↓										
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 学習指導の工夫・改善を図る。 ・計画的朝の学習の推進と見通しがつかめる授業の推進 ・指導技術の確立と授業時数の確保 ・習熟度別学習や少人数指導・TT指導等の効果的实施 ・学習内容定着度調査などの活用 ・かがやきルームの有効活用及び指導体制の充実 ・授業力向上のための校内研修の充実 ②家庭・地域への広報活動の工夫	B	A 4 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.9%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.9%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.9%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> ・児童、保護者、地域住民の肯定的な回答は、昨年度をやや下回ったが、数値目標は上回った。今後も、分かる授業、きめ細やかな指導の充実を図るとともに、授業への取組や工夫点を各種たよりなどで、家庭にも伝えていくようにする。	児童	93.9%↓	保護者	85.9%↓	地域住民	88.9%↓	教職員	100.0%→
児童	93.9%↓										
保護者	85.9%↓										
地域住民	88.9%↓										
教職員	100.0%→										

A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① マネジメントサイクルを活用した特色ある教育課程の編成に努める。 ・「児童が生き生きと活動できたか」という視点からの学校行事等の反省・改善	A5 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.9%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>97.2%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> 【次年度の方針】 B ・児童のみが低下した。アンケート用紙では「楽しいか（下学年）」「充実しているか（上学年）」なので、主観的な回答になったように思われる。保護者や地域住民、教職員は、教育課程が適切に実施されていると判断している。今年度の反省・評価を踏まえて、児童が生き生きと活動できるよう、教育課程を工夫して実施していきたい。	児童	93.9%↓	保護者	97.2%↑	地域住民	100.0%→	教職員	100.0%↑
児童	93.9%↓									
保護者	97.2%↑									
地域住民	100.0%→									
教職員	100.0%↑									
A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 90% ⇒地域住民の肯定的回答 90%	① 保護者や地域に信頼される学校づくりに努める。 ・開かれた学級、学校づくりの推進 ・うつのみやオープンスクール、授業参観、学校自由参観等の効果的な実施 ・学校便り、ホームページ、学年便りなどの充実による積極的な情報発信 ・保護者、<u>地域の方との積極的なコミュニケーション</u>	A6 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>97.6%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 B ・地域住民、教職員ともに肯定的回答が100%である。保護者の評価も昨年度より高くなった。開かれた学校づくりのために、各種たよりの発行に加えて今年度は、ホームページによる情報提供もあったためと考えられる。今後も内容を工夫し、A2やA7のように課題とされる部分を幅広く発信していく方向にしていく。	児童		保護者	97.6%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%→
児童										
保護者	97.6%↑									
地域住民	100.0%↑									
教職員	100.0%→									
A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 90% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 地域人材の協力や企業の専門性を生かした学習を推進する。 ・「町の先生」の年間指導計画への位置づけ ・各育成会や地域行事への積極的な参加 ・<u>小中一貫教育に関わる活動の計画的な実施</u> ・家庭・地域・企業等と連携した活動の広報活動の工夫・充実	A7 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>94.9%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.3%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.9%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 A ・地域住民のみ90%を切ったが、数値目標は80%なので、達成されている。今年も昨年度に引き続き、町の先生や地域人材の支援、さらに企業の出前授業等により、効果的な学習が展開された。次年度もさらに連携・協力を図っていく。保護者に対しては自由参観の積極的な勧誘や学校便り、学年便りでの啓発活動も行っていく。実施状況等の一覧を提示するのも検討する。	児童	94.9%↓	保護者	93.3%↓	地域住民	88.9%↓	教職員	100.0%→
児童	94.9%↓									
保護者	93.3%↓									
地域住民	88.9%↓									
教職員	100.0%→									

教育活動の状況	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすい」 ⇒保護者の肯定的回答 90%	① まごころ広場や花壇、教材園を中心とした環境整備に努める。 ・日常の清掃活動やまごころ清掃（校内や公園・通学路等）の工夫改善と充実 ・児童と協働した環境整備の工夫 ・教室環境の見直しと改善 ② P T Aやボランティアの協力を得て、環境整備に努める。 ・トイレやオープンスペースの美化	A 8 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>87.7% ↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.2% ↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0% ↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0% →</td></tr></table> B 【次年度の方針】 ・学習環境については、児童、保護者の肯定的回答が下がっている。特に、児童は2年続いて低くなってきている。次年度も、清掃の仕方の工夫・改善をしたり児童と共に教室環境を見直したりしながら、校内美化・環境整備の充実に努めていきたい。	児童	87.7% ↓	保護者	95.2% ↓	地域住民	100.0% ↑	教職員	100.0% →
	児童	87.7% ↓									
	保護者	95.2% ↓									
地域住民	100.0% ↑										
教職員	100.0% →										
	B 1 教師は適切な家庭学習を提示し、家庭と協力して基礎学力の向上に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、毎日きちんと家庭で学習を進めている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 全体アンケートの「家庭では、毎日子どもの家庭学習の状況を把握している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%	① <u>家庭と連携して、学習習慣の確立を図る。</u> ・「家庭学習のしかた」「自主学習のガイド」に基づいた、発達段階に応じた宿題や自主学習の工夫 ・「学習習慣定着強化週間」を年3回設定して、家庭と連携した指導に努める。 ・低学年「お話宿題」の推進による学校教育への関心の啓蒙	B 1 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>92.4% ↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69.3% ↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0% ↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0% →</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・児童の肯定的回答は、昨年度よりも大きく上回り、90%を越えた。しかし、保護者の割合は低く、この点が課題と言える。懇談会や個人懇談、たより等で啓蒙を図り、発達段階に応じた家庭学習の協力への意識を高められるようにしたい。	児童	92.4% ↑	保護者	69.3% ↓	地域住民	100.0% ↑	教職員	100.0% →
児童	92.4% ↑										
保護者	69.3% ↓										
地域住民	100.0% ↑										
教職員	100.0% →										
	A9 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、あいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 児童の創意を生かした「あいさつ運動」を推進する。 ・家庭及び地域協議会と連携した<u>地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開</u> ・小中合同の「あいさつ運動」の<u>推進</u> ・「あいさつ運動」の内容・方法の工夫・改善（いつでも、どこでも、だれにでも）	A 9 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>95.3% ↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>77.3% ↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>77.8% ↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.0% ↓</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・教職員の肯定的回答は昨年度よりやや下回ったが、児童、保護者、地域住民は上回った。しかし、保護者や地域住民の割合は低い。校内でのあいさつは、比較的よくできるが、校外でのあいさつが課題となる。今年度始まった小中合同のあいさつ運動を継続発展させたり、あいさつ標語の実践化を図る工夫をしたりするなど、児童会、地域、教職員が一体となってあいさつ運動を広げていく。	児童	95.3% ↑	保護者	77.3% ↑	地域住民	77.8% ↑	教職員	90.0% ↓
児童	95.3% ↑										
保護者	77.3% ↑										
地域住民	77.8% ↑										
教職員	90.0% ↓										

健康・体力	A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒保護者の肯定的回答 70% ⇒地域住民の肯定的回答 70%	① 基本的マナーと状況に応じた言葉づかいの励行に努める。 ・時と場をとらえた指導の継続（訂正・賞賛） ・「職員室の入り方」等掲示物の作成と活用 ・「礼儀」についての道徳の授業の展開	B	A10 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>83.0%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>72.6%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.9%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.9%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・保護者や地域住民の肯定的回答は、昨年度より上がり、また、数値目標も上回っているものの、割合は低い。校内では、教職員が言語環境への意識を高め、人権尊重の意味も含めて、実践していく。また、児童に対しては、時と場をとらえた指導を継続していく。	児童	83.0%↓	保護者	72.6%↑	地域住民	88.9%↑	教職員	90.9%→
	児童	83.0%↓										
	保護者	72.6%↑										
	地域住民	88.9%↑										
教職員	90.9%→											
B2 児童は、思いやりの気持ちをもって生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は友達にやさしく、思いやりがある。」 ⇒児童の肯定的回答 90% ⇒教職員の肯定的回答 90%	① 一人一人を大切にする人権教育を推進する。 ・人権感覚・人権尊重の態度の育成を目指した指導の充実 ・教師一人一人の意識の高揚 ・人権週間・いじめゼロ運動の効果的な実施 ② 三あい運動を継続的に実施する。 ・居がいのある学級づくり ・保護者への啓発活動の実施	B2 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.9%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.2%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.9%↓</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%→</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・思いやりについては、数値目標は上回っているものの、教職員以外3者の肯定的回答が昨年度を下回っている。次年度も、一人一人を大切にする学級経営を目指し、研修や定期的な振り返り等による教職員の人権意識の高揚や心に響く道徳の時間の展開、時と場をとらえた児童指導等、さらに人権週間や様々な活動を通して児童の豊かな心づくりに努めたい。	児童	93.9%↓	保護者	90.2%↓	地域住民	88.9%↓	教職員	100.0%→		
児童	93.9%↓											
保護者	90.2%↓											
地域住民	88.9%↓											
教職員	100.0%→											
A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒児童の肯定的回答 90%	① 児童が進んで運動に取り組むことのできる<u>体育的環境の整備</u>と体を動かす遊びの日常化を図る。 ・竹馬や一輪車などの遊具の整備 ・まごころ広場の活用 ・「みんなで遊ぶ日」の工夫と外遊びの奨励	A11 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>97.1%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.4%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↓</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・4者とも肯定的回答が90%を上回り、昨年度を上回っている。これは、運動の習慣化が図られてきていると考えられる。次年度も、体育的環境の整備や体を動かす遊びの日常化を図っていく。まごころ広場も発達段階に応じて、有効に活用していく。	児童	97.1%↑	保護者	91.4%↑	地域住民	100.0%→	教職員	95.5%↓		
児童	97.1%↑											
保護者	91.4%↑											
地域住民	100.0%→											
教職員	95.5%↓											
A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 食の指導や給食指導の充実 ・朝食をとっていない児童への指導 ・養護教諭、学校栄養士と連携した各教科や特別活動等における食育の実施 ・家庭と連携した食の指導 ② 「すこやか教室」の実施 ・町の先生と連携した食育の指導	A12 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>81.5%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.5%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%→</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↑</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・肯定的回答が100%の地域住民以外の3者とも昨年度を上回っている。しかし、保護者の割合が低いのが、次年度の課題にもなる。給食だよりや保健だよりを通して、食と健康に関する知識の理解と実践力の向上を目指す	児童	81.5%↑	保護者	76.5%↑	地域住民	100.0%→	教職員	95.5%↑		
児童	81.5%↑											
保護者	76.5%↑											
地域住民	100.0%→											
教職員	95.5%↑											

	B3 児童は、自分の健康や体力に関心をもって生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康に気を付け、目あてをもって運動している」⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① 家庭と連携して、健康の保持・増進に努める。 - 健康診断結果の適切な処置 - 手洗い・うがいなどの<u>衛生的な生活習慣の確立</u> ② 体力向上のための工夫・改善に努める。 - 各種検定や全校生で取り組む強化月間の実施 - 体育の授業、体育的行事を核とした体力づくりの実践 - 元気っ子体力テストの活用	し、継続的に家庭に働きかけていく。「すこやか教室」については、隔年になったので、実施しない学年は、食に関する指導を、栄養士と養護教諭と連携して行う。 B3 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>91.3%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69.7%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> B 【次年度の方針】 肯定的回答が4者とも昨年度を上回っている。今後も・衛生的な生活習慣の確立を目指して、引き続き指導を強化していく。保護者の割合が低いので、児童の学校での運動への取組の様子についてさらに理解が深められるよう、各種たよりや懇談会などを通して知らせていく。 本校児童の体力面での課題である投力を高めるために、いろいろな種類のドッジボールを紹介し、体育の補強運動として、授業のはじめに積極的に取り入れるよう体育部から働きかけをする。	児童	91.3%↑	保護者	69.7%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%↑
児童	91.3%↑										
保護者	69.7%↑										
地域住民	100.0%↑										
教職員	100.0%↑										
	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%	① <u>基礎・基本の確実な定着を図る。</u> - 少人数指導、習熟度別学習等の工夫 - 話の聞き方や発表の仕方など徹底 「城央小の学習の仕方」に基づいた<u>基本的な学習態度の徹底</u> ② 児童の学習意欲を高め、共に学び合う授業の展開を図る。 - 学習意欲を喚起する工夫 - 共に学び合う学習展開の工夫	A13 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>93.1%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.8%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↑</td></tr></table> B 【次年度の方針】 4者ともに肯定的な回答が90%を越えており、基本的な学習態度や学び合う学習が定着しつつある。今後も引き続き指導を重ねるとともに、その様子を各種たよりなどで知らせていくようにする。	児童	93.1%↑	保護者	90.8%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	95.5%↑
児童	93.1%↑										
保護者	90.8%↑										
地域住民	100.0%↑										
教職員	95.5%↑										
学 習	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 90%	① 学び合いを重視し、「学ぶ楽しさ」と「考えるおもしろさ」を味わわせながら、思考力の育成を図る。 <u>話の聞き方や発表の仕方など学習のきまりの掲示物の作成と活用</u> - 話す力・聞く力・学び合う力の向上を目指す授業の工夫 - 共に学び合う学習活動の工夫 ② 「わかる授業」の推進 - 明確な課題の提示と板書等の工夫 - 個に応じた指導 - 教師の自主的、自発的研修の推進	A14 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>85.1%↓</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.5%↓</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%↓</td></tr></table> B 【次年度の方針】 地域住民以外は、肯定的回答が昨年を下回っている。特に、児童、保護者においては、数値目標の90%よりも下回っており、特に落ち着いた学習態度と聞く力の育成が課題となっている。日々の授業の中で継続的に指導していくとともに、分かる授業、楽しさ・おもしろさのある展開を心がけていくようにする。	児童	85.1%↓	保護者	86.5%↓	地域住民	100.0%↑	教職員	95.5%↓
児童	85.1%↓										
保護者	86.5%↓										
地域住民	100.0%↑										
教職員	95.5%↓										

	B4 進んで読書に取り組 み、読書を楽しんでい る。 【数値指標】 一人当たりの1か月の読 書量⇒10冊以上 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 60%	① 読書活動の充実を図る。 ・全校一斉、教師と児童の朝の読書 の徹底 ・各学年推薦図書20冊選定 ・ボランティアによる読み聞かせの 実施 ・月10冊以上に多読者賞の表彰 ・家庭と連携した家読の推進 ・図書室の整備など ・児童の読書と保護者を結び付ける 工夫	B4 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td>84.0%↑</td></tr><tr><td>保護者</td><td>58.5%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.5%→</td></tr></table> B 【次年度の方針】 ・教職員以外は、肯定的回答が昨年を上回っ たが、保護者の割合は依然として低く、数値 目標に届いていない。やはり、家庭ではあま り読書をしないと考えられる。おすすめの本 をたよりやホームページで紹介するなど、児 童の読書と保護者を結び付ける努力を今後 も続けていくようにする。	児童	84.0%↑	保護者	58.5%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	95.5%→
児童	84.0%↑										
保護者	58.5%↑										
地域住民	100.0%↑										
教職員	95.5%→										
本校 の 特 色 ・ 課 題 等	B5 学校は、保護者・地域住 民との連携を図り、安全で 安心な学校づくりに努め ている。 【数値指標】 学校独自の評価 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%	① 危機管理意識の高揚を図る。 ・定期的な登校・下校指導の実施 ・避難訓練、防犯教室の実施 ・スクールサポーター、防犯ボラン ティア「まごころサポーター」等と の連携	B5 【達成状況】 <table><tr><td>児童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.2%↑</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%↑</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%↑</td></tr></table> B 【次年度の方針】 ・地域住民、教職員ともに肯定的回答が10 0%である。昨年度に比べて様々な取組がき ちんと伝わっていると思われる。今後も、危 機管理意識の高揚に努め、保護者や地域・駐 在所など関係諸機関と連携を深めていき たい。また、学校の取組も随時発信していき たい。	児童		保護者	93.2%↑	地域住民	100.0%↑	教職員	100.0%↑
児童											
保護者	93.2%↑										
地域住民	100.0%↑										
教職員	100.0%↑										

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・学校生活に関する A1～A5 の項目の児童の肯定的回答をみるとすべてが数値指標を上回っており、児童は、明るくいいきと学校生活を送っている様子がわかる。しかし、A3 のきまりやマナーの遵守については、少しずつではあるが年々意識が低くなってきている。この傾向を踏まえ、次年度は、「城央小のよい子」や週目標の確認を徹底し、きまりやマナーを守った落ち着いた生活ができるよう指導していく。また、家庭と連携した指導を今後も継続していく。

○家庭学習については、今年度も保護者の肯定的回答が数値指標を下回り、その割合も低い。次年度も家庭の理解・協力が得られるように、学年便りや各種懇談等で、学校で指導していることについて保護者に知らせるなどして関心を高める働きかけをしながら定着を図っていきたい。

○生活面では、あいさつや言葉づかいについての肯定的回答が、児童・教職員は約90%、保護者・地域は、昨年度よりはポイントの上っているが、約80%と差がある。学校では、あいさつ運動の継続化により児童の意識も向上し、比較的良好できるようになってきているが、家庭や地域では十分とはいえない状況である。今年度は、地域学校園であいさつ運動を実施し、中学生も元気にあいさつしていることを理解した。さらにあいさつの場を広げていけるよう、引き続き指導していきたい。

・学習面では、「進んで学習に取り組んでいる」についての肯定的回答が児童・保護者・地域住民・教職員の4者とも90%を上回っている。これは、教員が、基本的な学習態度の育成をはじめとして、学び合える授業・分かる授業の展開に努めてきた成果であると言える。来年度も教員一人一人の授業力向上に取り組んでいきたい。

・読書については、「読書の習慣が身に付き、楽しんで読書をしている」という項目の児童の肯定的回答は昨年度を上回っていたが、今年度は、保護者の肯定的回答も昨年度よりも上回った。しかしながら、58.5%とポイントは低い。引き続き保護者への啓蒙が課題となる。今後も読書の習慣化のために行っている学校の様々な取組を紹介して、家庭とさらに連携を図って「家読」の推進に努めていきたい。

・次年度も、学校の情報を保護者や地域に積極的に発信したり提供したりして、コミュニケーションを密に取り合いながら、保護者・地域と一体化した学校づくりを推進し、児童の健全育成を図っていきたい。

6 学校関係者評価

○家庭学習についての保護者の肯定的回答の割合が低いのは、教育に対する関心が高くなってきているという見方ができる。家庭においても、さらに積極的に学習に取り組んでほしいという保護者の願いが児童の姿に反映していないのではないか。児童の学習意欲を高めるために、家庭では、保護者が言葉かけや励ましを続けていくことが大切である。学校に掲示してある「ふわふわことば」を保護者も使えるとよい。学校は、「家庭学習のしかた」等の手引きを工夫し、保護者が参考にできるような情報を提示するとよい。地域学校園の取り組みとして今年度より実施している漢字検定は、家庭でも意欲的に練習しているので、ありがたい。

○あいさつについては、登校時のあいさつについては、登校班によって差がある。元気なあいさつを返せる児童がさらに増える。また、地域において学校内ほどあいさつができないのは、児童は、どこまであいさつをしてよいかわからないのではないかと。親子で地域でのあいさつについても話し合う機会があるとよい。子・親・地域がふれあう機会が少なくなっている昨今、地域の大人が必要に応じて言葉かけをしたり地域内のコミュニケーションが図れる場を設けたりして、「斜めの関係」も築いていきたい。また、あいさつを小中一貫で行っているのは、よい取り組みである。

・安心して安全な学校づくりに対する肯定的回答の割合は高いが、今後は、「まごころサポーター」や駐在所等の横の連絡をさらに密にするなどして安全組織の連携を図りながら、より安心して安全な学校づくりを推進していきたい。

・アンケートの項目のなかには、答えづらいものもあり、学校関係者としての外部評価の難しさを毎回感じている。内容を再検討してもらえるとありがたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

☆ 地域に信頼され、地域の核となる学校づくりを推進するために、学校を取り巻く、児童・保護者・地域・教職員の想いを吸い上げ、それらを検討し、下記のような4つのプロジェクトを組織して、全職員が学校経営に参画できる工夫を行い、次年度の学校ビジョンに反映させる。

